

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年7月1日～令和5年3月31日

施設名	純愛の聖地庵治・観光交流館		
指定管理者	JR四国不動産開発株式会社	施設所管課等	観光交流課
指定期間	令和4年7月1日～令和9年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市庵治町5824番地4	業務の概要	施設の維持管理・運營業務 ・写真館(管理棟)カフェコーナー ・物産館(観光案内コーナー、映画写真展示コーナー) ・企画展示コーナー ・駐車場
施設の概要	【施設】 木造2階建及び木造平家建一部中2階 【職員の状況】 パート3名 【開館時間】 9:00～17:00 毎週火曜日は休館		

	項目名	令和4年度	令和3年度	項目名	令和4年度	令和3年度
利用状況等	利用者数	1,566 人	8,532 人			
収支状況等	指定管理料	3,659 千円	5,056 千円	支出実績(総額)	5,692 千円	8,921 千円
	収入実績(総額)	4,557 千円	8,897 千円			
	(うち事業収入、雑収入)	898 千円	3,841 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	管理運営にあたっては、平等で開かれた利用ができるよう留意した。施設の利用にあたっては、平等利用を原則とし、特定の個人や団体が独占的な利用を行わない様に配慮している。	B
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	施設利用促進については、施設の魅力を高めるための自主的な企画事業に力を入れた。庵治花火大会の公の告知を当館ホームページで行い、地域の魅力を発信し、観光交流館としての業務を行った。地域との連携についても「高松ファミリー&クォーターマラソン in AJI」へ出店手配を行った。JRグループの魅力を活かした自主事業の実施に向け現在企画中である。相談・苦情の窓口として本社及びコールセンターを活用しており、24時間の一時受付対応を可能としている。	C
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	今期開業を行った際、施設従業員については施設近隣地域より採用を行い、地域雇用に貢献した。また、就業にあたってはそれぞれの働きやすい環境構築に配慮している。損害保険については施設保全の適切な保険に加入している他、雇用者として従業員に労災保険の他、適切に保険加入手続きを行っている。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビズネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	コロナ禍及び施設の閉館を経ての再開が影響しており、来館者及び売り上げは前年度より大幅に減少している点はやむを得ないものと考えられる。電気代の値上げなどの社会情勢の悪化の下、一部設備のガスへの切り替えなどを積極的に行い、結果として電気料支出については前年度を大きく下回る成果を得た。	B

総合評価コメント	総合評価
施設の管理条例や各種マニュアルを遵守し、安全管理など適正な施設管理がなされている。個人情報保護についても「高松市個人情報保護条例」に基づき、守秘義務の徹底を図っているほか、外観撮影等の利用に際してもトラブルがないよう配慮した運営が行われている。施設はいつも清潔に保ち、観光客や地域の利用者が快適に過ごせるような空間づくりもなされている。また、展示室利用者の声を取り入れ、よりよい施設利用ができるよう情報共有を行うなど、住民に寄り添った施設運営も実施されていた。物価高騰の影響が大きい中、光熱費を抑えた運営をされたことも高く評価できる。 令和4年度は、4月から6月まで休館し、新たな指定管理者での供用開始が7月1日からであったことが大きく影響し、利用者が大幅に減少となった。今後は、施設の特性を生かした、イベントや地域と一体となったにぎわいの創出、広報活動にも力を注ぎ、新たな魅力ある施設となるよう努めていただきたい。	B